

ま ち の 話 題

豊岡

豊岡駅100年の軌跡展

100歳を迎えた 豊岡の顔



▲写真を見ながら話が弾む来場者と管理ボランティア

JR豊岡駅は明治42年7月10日に開業し、今年100歳を迎えました。その記念事業の一つ、軌跡展が豊岡駅通りの空き店舗で、8月2日まで開催されています。

展示は、開業当時の駅、昭和初期の駅、昭和10年の駅火災写真などのほか、SLや0系新幹線部品など貴重な品が並んでいます。

写真展は、西日本鉄道OB会と豊岡SL保存会がボランティアで管理されています。OB会の平尾 巧さん、堤 安毅さん、広瀬隆義さんは、「来場者は、懐かしいとか、よくこんな写真が残っていたなあと言われます。会期中にも追加展示し、さらに充実しています」と笑顔で話していました。

城崎

城崎七夕まつり

短冊に願いを込めて…

星に届けて!!

7月4日から7日までの4日間、「城崎七夕まつり」が城崎温泉街の四所神社境内で開催されました。これは、城崎の若者有志で結成した「城崎文化フェスタ実行委員会」の企画によるもので、今年で4回目になります。

ササ飾りは、城崎幼稚園児と城崎小学校児童が作成し、ササを鮮やかに彩りました。

午後7時ごろから、竹灯籠の灯りがともり、幻想的な雰囲気の中、観光客らは受け取った短冊に「みんなが笑顔になりますように」「健康で居られますように」などの願いを書き込み、思いを込めてササに吊るし、ゆつたりとしたひとときを過ごしていました。



▲願いを書いた短冊をササに吊るす観光客。「願いが叶うといいね」

竹野

竹野浜・弁天浜・切浜海開き

事故無くにぎやかな夏と なりますように!



▲暑い夏の到来と海水浴客の安全を祈願して!

7月1日、竹野浜海水浴場(竹野町竹野)で、海開き式典が開催されました。

当日はあいにくの空模様でしたが、行政機関および観光関係者ら約30人が、期間中の大勢の海水浴客の来場と安全を祈願しました。

式典の後、バケツに小分けされた約500匹のヒラメの稚魚が、出席者らによって、波打ち際から海へ放流されました。

県が発表した海水浴場の水質調査結果では、竹野浜、弁天浜、切浜の3カ所とも最良のAで、安心して海水浴ができます。海の家も万全の体制で、暑い夏の到来と海水浴客でにぎわう海辺の風景が目につかぶようでした。

日高

神鍋高原キャベツまつり

自慢のキャベツで元気発信!

6月28日、道の駅「神鍋高原」(日高町栗栖野)で「神鍋高原キャベツまつり」が開催され、約3千人の来場者でにぎわいました。

「神鍋高原キャベツ」は、6月から7月に出荷される「旬の野菜」です。そのキャベツで新型インフルエンザに負けない神鍋高原をPRしようと、今年初めてこの祭りが企画されました。

キャベツピラミッドの除幕式でスタートしたまつりは、キャベツ丸かじり競争や、キャベツスープの振る舞いのほか、キャベツコロケやキャベツカレーの販売など、キャベツづくしの楽しい一日となりました。



▲1,000個のキャベツ無料配布に行列を作る来場者たち



▲来場者に好評だった出石皿そば

出石

出石皿そばで元気をごさる
皿そばを振る舞い

元気な姿をPR

6月27日と28日の2日間、出石皿そば協同組合が企画した「出石皿そばで元気をごさる」が、出石総合支所前で開催されました。これは、新型インフルエンザの影響で遠のいた客足を呼び戻そうと、手打ちの皿そばを1人前300円で振る舞うもので、会場内は市内外のお客さんにぎわい、大盛況でした。

大阪府八尾市から「名探偵コナン・ミステリーツアー」で出石を訪れた加藤啓子さんと松田佳子さんは「おいしかった。ほかの店のそばも食べてみたい」と満足そうでした。約2千食分の売上げは、新型インフルエンザ対策にと、行政機関に寄付されます。

但東

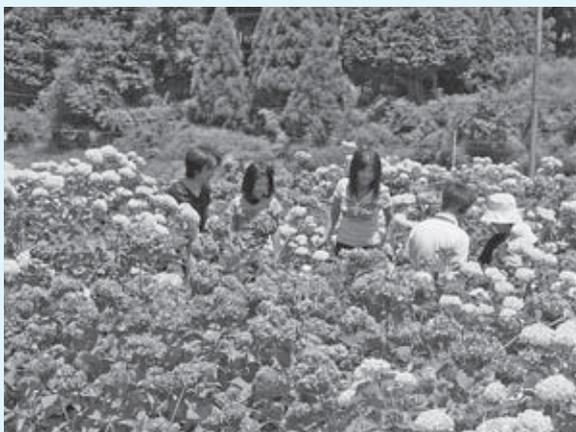
奥赤あじさい祭

雨のイメージ??

晴天にも良く映えます

6月28日、但東町奥赤で、区民一丸となった「あじさい祭」が開催されました。春先には、アジサイの新芽がシカの被害に遭ったことで、開催に暗雲が立ち込めていましたが、「祭りを区民の励みにしよう」と開催を決定すると、色鮮やかなアジサイが奥赤を彩りました。例年は「降雨に映えるアジサイ」でしたが、今回は、「汗ばむほどの晴天の下、アジサイも、太陽に負けじと輝いていました。」

区長の榎本義弘さんは「苗を植え始めてから20年近く経っている。70歳以上の区民が多く、管理していくのは厳しいが、今後も祭りは続けていきたい」と力強く語りました。



▲青色や白色のアジサイに見入る来訪者